

# もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL <http://www1.ocn.ne.jp/~hgakuren/>

郵便振替口座 01380-6-37958

## 平成21年度山岳レスキュー講習会

### 北海道トムラウシ大量遭難を受けて開催

145名 受講

8月23日 三倉岳マロンウオール前

指導部遭難対策委員長 堀内輝章

昨年に続き、本年も日山協遭難対策常任委員を講師に迎え、山岳レスキュー講習会を、8月23日、三倉岳にて行ないました。

今年は北海道トムラウシに於いての、未曾有の大量遭難を受けて、その関心度は非常に高く、併せて山岳指導員の受験、及び更新のカリキュラムとしての行事としていたため、予想外の大量申し込みとなりました。(スタッフ含め145名)

今回の講師はおなじみ日山協遭対常任の渡邊輝男、岩切貴乃の両氏で、その指導力は周知の通りです。

8月22日は午後より、地元の集会所をご厚意でお借りし、山岳遭難の概要、及び寒冷障害とビバークについて、以前発生した、北海道での状況を再現しての講義となりました。

### 懇親会で山談義

また、夜は山口、岡山両県の参加者を含めての懇親会で交流を深め、夜の更けるのも忘れての山談義となりました。

明けて23日は一般参加者、岳連関係者、及び鳥取、愛媛の遭対関係者も含め京才会長の挨拶に始まった開講式後、ハイキング、クライミングの両コースに分かれて、実践に即した講習を行ないました。

当日はTSSの取材もあり、時間の経つのも忘れるほどの充実した内容となりました。

講習は16時に終了。閉講式では山田理事長挨拶、講師による総評で締めくくりとし、今回の講習を成功裡に終了することができました。

最後に、2日間にわたって、貴重な時間を割いてこの講習会にご協力いただきました岳連関係者、及び地元の方々、そして一般参加者の皆様に心よりお礼申し上げます。

日時：2009年8月23日(日) 9:00~15:30

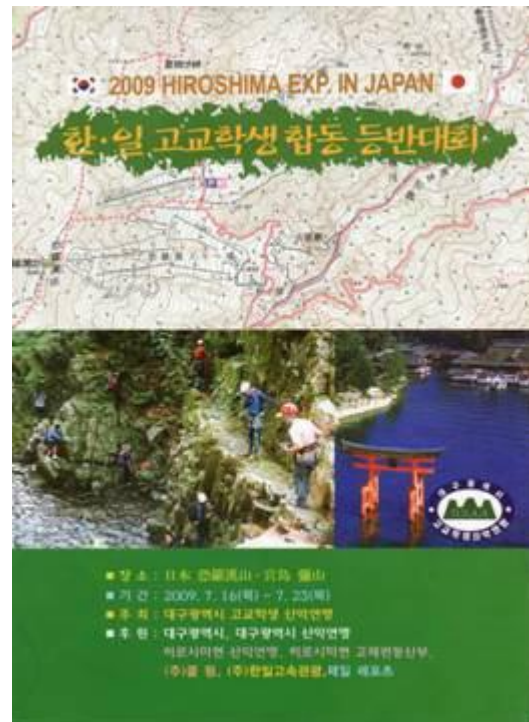
場所：三倉岳マロンウオール前

講師：渡邊輝男氏 日本山岳協会遭難対策常任委員

岩切貴乃氏 日本山岳協会遭難対策常任委員

日本体育協会 公認山岳指導員

写真は「広島県・韓国大邱広域市高校生交流登山」(7月17日~23日)のパンフの表紙



89号は8頁建です。目次は16頁にあります

## 山登りは自己責任が原則

### クライミングスクール 兼森

今回はクライミングレスキュー講習会に参加する為、8時半受付開始に間に合うように現地へ向いました。受付周辺には既に沢山の受講者の方が集まっていて、皆さんの登山に対するリスク管理の意識が強いのだなあと感じました。

そんな中、クライミング初心者の私は技術的な不安を抱きながらも受付完了。

最初の1時間は、一般登山クラスとクライミングクラスの合同で講習が行われました。

山登りは自己責任が原則となり、ここでは、遭難事故に備える為に必要な、事前の天候確認、登山中の体調管理、携帯しておきたい所持品の紹介、救助要請手段、要救助者の搬送方法等について講師の先生に教わりました。

要救助者の搬送方法のデモでは、雨具やザック、スリング等を用い、要救助者のお尻の位置を高く上げてあげると比較的楽に背負って歩くことができることを学びました。また、道具は高価な物ばかりを揃えなくても、100均に売っている安いものでも利用方法を工夫することで、自分を守るレスキュー道具に変身することを知りました。

合同講習後は、それぞれのクラスに分かれ人工壁を使つてのセルフレスキュー講習となりました。

ここでは、メインロープを使った流動分散と固定分散のセットの違い、スリングを使ったフリクションノット活用法、クライムアップ、ビレイからの自己脱出、デ이지ーチェーンを使った懸垂下降(フリクションノットバックアップ)・振分等を四苦八苦しながら練習しました。

尚、メインロープとスリングの使い方では、太さの差が大きいほどフリクションが強くなるそうですが、スリングの巻き方が緩いと効果がない場合もあり、普段の練習で使用するものを実際に活用するのが一番良いであろうとの事。異なった太さや巻き方の強弱具合を練習しておく事も大切なのだと思いました。

また、講師の先生とスタッフさんのデモで、手を怪我した要救助者を救助者が背負って降りてくる場面では、連結し

たデ이지ーチェーンと下降器に対する要救助者の位置が、救助者の位置より高くなるように設定すると救助者が楽になる。また歩ける人の場合、お互いの足元が近付かない方が操作性がし易くなるなど、ちょっとしたことがレスキューの成功に繋がるのだと感じました。

今回の講習を終えて、講師の先生がおっしゃっていた中で印象的だったお話があります。

### レスキューは簡単、早く、安全に

それは、例え自分自身に救助する体力が無いかもしれないと救助を諦めるのではなく、今回の講習で聞いたを、仲間や遭遇した他のパーティに伝えて活用して頂けたらという事。

更にレスキューで大切な事として、「Simple」簡単「Speed」早く、「safety」安全に、の「3P」についてのお話がありました。

これは、教科書や参考書通りの方法だけでなく、臨機応変に実践で使えるものであること、また必要以上に時間を掛けてはならないこと、尚且つ安全な方法である事。この3つのうちの1つでも欠けてしまつては意味をなさないと思うと、未だ教科書が手放せない私はズシッと痛感し、また新たに習ったロープワークに励むのでした。

最後になりましたが、今回限られた時間の中で、沢山の事を持ち帰って欲しいという熱心な講師の先生、真剣な眼差の受講生の皆さんとご一緒に貴重で楽しい一日を過ごさせて頂き有難うございました。

また、今回のクライミングレスキューは、技術的に未熟で参加に不安もありましたが、ご指導下さったスタッフの皆さんのお陰で無事に終了することができ感謝しています。

### 山岳レスキュー講習会に参加して②

#### 気象情報、装備の大切さ学ぶ

森 茂樹

7月のトムラウシ山遭難事故の影響か、大勢の参加者を得て実施された。

参加して感じた事を以下に述べる。

山に行くことは自己リスクを背負うことで、事故は発生

## 山に親しむ、山を楽しむ、山に学ぶ

する事を前提に登山を考える事も 必用なのではないだろうか。

事故が発生しても最小限に抑えるためにも、山の知識・情報は大切である。

今回のトムラウシの事故を例にとると 低体温症の症状・予防・対策等の知識を持っているのとそうでない場合は生死を分けることにもなる。

山に登るための必用情報を 例えば気象情報・装備の大切さも学んだ。

山岳遭難事故の概要を理解し、事故の発生原因を分析して 少しでもリスクを少なくすると共に 如何に事故を未然に防ぐか、遭難者を如何に早く搬送するか等の知識機会ある毎に学んで、自己の研鑽に努めたい。

セルフレスキューとはその場にいる人たちが何が最善なのか、どういう方法をとるのが一番良いのか考え行動することなので まず自分を守るためにもセルフレスキュー技術を覚えることの重要性を再認識した。

指導員として教えるためには反復学習して確実に自分の知識・技量にしておかなければ 誤った事を教えかねない。

冷静沈着な行動が取れる様に常日頃から訓練・努力を惜しまない様にしたい。

### 副会長挨拶

山の楽しさ、自然保全の大切さ広めたい

### 副会長 野島 信隆

5月から副会長に就任した野島です。これ迄広島県山岳連盟にお世話になった恩返しのため、精一杯努めますのでご協力をよろしくお願いします。

私はマツダ山岳部の登山バスに参加して登山を始め、部員や山仲間と四季折々の登山を楽しんできました。

山岳連盟は講習会や登山大会に参加する程度でしたが、国体や比婆山スカイラン大会の役員を手伝って、他の会の方々と仲良くなりました。'01年からは山岳連盟の理事として普及部を手伝う事になり、主に自然保護関係を担当し、'03年からは普及部長としてスカイラン大会・ひろしま「山の日」県民の集い(登山フェスティバル)・自

## もみじ89

2009(平成21)年10月1日発行

自然環境保全・その他の普及啓発活動を担当しています。

現在は(社)日本山岳会広島支部にも所属して、登山講座委員長と自然環境副委員長を兼務しています。

家庭と仕事と山とソフトボールのバランスを取りながらこれ迄教えて貰った事を少しでも後進の方々に伝え、山の楽しさと自然環境保全の大切さを広めたいと思っています。

当面の課題は、比婆山スカイラン大会の復活と普及部長の後任者選びです。個人会員も含め一緒に活動される方の参加をお待ちしています。皆様のご協力をお願いします。

### 副会長挨拶

### 上級指導員の育成と

### 派遣事業の推進

### 副会長 岡谷 良信

永い間広島の地を離れ、単身赴任9年余り浦島太郎の私にこの様な大役を与えて頂いた事、光栄とするべきか、重荷と感じるべきかとまどっているのが現実です。

しばらく岳連の職務を離れ自由な身で物事が見られたことは私にとっても貴重な時間でありました。今現在の多くの岳連サイドの悩みは何かといえば『高齢化』であろう、このために、各山の会、山岳連盟の求心力まで低下させている様に感じているのは私だけだろうか・・・。

この現実を謙虚に反省し『わしが わしが』の思いを捨て、大切な『育てる』と言う方向での運営も必要だろう。

目標であった、法人化も何とか見通しつつ、岳連として(加盟団体)(個人会員)(社会貢献)など原点に戻り還元すべき目標掲げる為次の内容を模索中である。

### 上級指導員(指導員)の育成

(財)日本体育協会、(社)日本山岳協会、公認指導員の指導法等の変更により現状ではマッチしない点が多々出て来ている、意欲を持って取得された指導員資格であるはずで眠らせて置く事は無い。

先人たちが犠牲になりながら得た安全登山の知恵を伝承する義務があるとの思いで資格活用の充実とその環



## 派遣事業の推進

社会現象の変化、登山形態の変化により指導員の活動範囲がクラブ指導から一般者、観光ツアー会社、地域団体へと変化の中で岳連としてなんらかの対応も必要ではないだろうか。

こんな中で先般、山岳連盟事業部より『認定ツアーガイド』の提案を受け実施の方向で動き、各加盟団体も高齢化に伴い指導体制、登山範囲の縮小など不安解消、社会貢献、等のお役に立ちながら、岳連運営費の協力も出来ないものかと思う幸いです。

具体案としては(登録制度)を導入する。つまり『公認上級コーチ』『公認上級指導員』『公認指導員』一般社団法人広島県山岳連盟認定『登山インストラクター』と区分し、公募申請していただく。その結果、各自の得意なジャンルで安全登山の推進役として活動頂ける場の提供を図りたい。

## 個人会員の取扱

個人会員について、私の認識不足でどのような扱いがなされているのか理解出来ていません。この先どのような扱いをしようとしているのか疑問も持っていますが具体策も見出す事も出来ません。

疑問を持つことで何かが開ける様な気がしています。

個人会員の入会は次の4パターンがある。即ち『国体絡み』『真に個人会員で加入』『加盟団体を脱会後、意志のある人に岳連の一員として協力頂いている人』『クライミングスクール、登山教室の受講者』の方などです。その事を踏まえ今後どのような取組みが良いのか、現状で問題は無いのか検証の必要性を感じ、岳連直属の会の立上げは出来ないものか。加盟団体への紹介活動(加盟団体活性化)を図りたいものです。

以上の様な大枠での刷新を思い、受理申し上げさせて頂きましたが皆様の理解と協力が無い限り、なにも出来ません。以上のことをご理解頂き、まず一步皆さんと踏出し『安全に感動を求め、楽しく、時にはきびしく』絆のある山岳連盟を目指すつもりです、今後ともご協力くださる様お願い致します。

## 私の一言

### 秋の味覚マツタケ 外国産が主流に —広島マツタケ王国今いずこ

富澤 哲郎

集中豪雨や猛暑に悩まされた夏もいつの間にか秋風が吹く季節になりました。

秋になると味覚の王様であるマツタケが話題になります。マツタケは万葉集の歌にも登場するように古くから日本人の食卓に登場する秋の味覚の王様でした。

マツタケは日本全国で発生し採取されていました。北は北海道から南は鹿児島県まで県別の差はあっても日本の全域にわたって発生していました。昭和初期10年間の平均は7千トン台、昭和10年代は年平均6千トン台、昭和16年には最大の記録で1万2千トンの生産がありました。ところが昭和30年代から山の放任などが原因で生産が下降の一途を辿っています。昨年平成20年のマツタケの全国生産量は僅かに70トンです。

ところで、広島県はアカマツ林が大面積に存在していたためマツタケ生産量は常に上位をしめ、マツタケ王国でした。極端な表現をすると足の踏み場もない程発生する山が各地にありました。広島県で最高に生産された年は昭和38年でした。生産量は2,085トンでした。ところが、その後山の手入れ不足等が影響して生産量は激減しています。昨年平成20年の広島県の生産量が6トンでした。しかし、この量でも長野県そして岡山県について全国3位の生産量でした。

生産量が減少したために外国から大量に輸入されるようになりました。日本国内で流通しているマツタケのほとんどは世界の各地から輸入されたものです。韓国をはじめとして中国、北朝鮮、カナダ、モロッコ、メキシコ、アメリカ、トルコそしてブータンなどが主な輸出国です。このためにマツタケは外国産の食品と誤解している人々が居るようで残念です。( 参与・ひこばえ)

みんなで歌おう 山の歌

故郷 広島山

大岡義明作詞

渡部公子作曲

(初版平成5年一部改正平成19年)

第1章

- 1 高き恐羅の 嶺越えて 砥石 眼下に聖湖か  
熊笹の丘 十方山 アー広島 ふるさとの山
- 2 岩のキレット 窓が山 三倉も岩の剣  
馬の背またいで鎌倉寺 アー広島 ふるさとの山
- 3 石仏たずねて 白滝へ 望むは 四国の連山に  
夕日に浮かぶ 野呂の山 アー広島 ふるさとの山
- 4 比婆を歩いて 烏帽子山 御陵の後霊 吾妻山  
眺めば大山 雪の城 アー広島 ふるさとの山
- 5 胸突き八丁 白木山 街並み広がる 呉婆々宇へ  
武田の山より 三滝寺か アー広島 ふるさとの山
- 6 海を渡れば 紅葉谷 かえでを拾って 弥山岩  
向こう古鷹 安芸小富士 アー広島 ふるさとの山
- 7 出湯つかって 湯来山 滝のしぶきで 身を洗う  
龍頭のせせらぎ 天上山 アー広島 ふるさとの山
- 8 岩をたどって 天神岳へ 岩の伝説 岳山に  
火山の岩 うつる海 アー広島 ふるさとの山
- 9 賀茂をたどって 小田の郷 広がる三山 絵下天狗  
夢がはばたく 山々へ アー広島 ふるさとの山

- 10 山は広島 我が里を 春夏秋冬 登る山  
ぐるりと廻って また登るアー広島 ふるさとの山

東広島版

- 9 眺めは絶景 我が里に 西条歩けば 龍王山  
酒蔵並ぶ 白煙に アー広島 ふるさとの山

三次版

- 9 広がる雲海 我が里に 夢と勇気が 湧いてくる  
清高の丘 <sup>やまんぼう</sup> 山登人 アー広島 ふるさとの山

東部版

- 9 竜王 大峰 鳴滝と 夢広がるや あの峰に  
故郷歩いて 花めぐり アー広島 ふるさとの山

東部会員による合作

第二章

- 1 霧が晴れたら 海眼下 筆影山から羽田龍王  
紅葉求めて 大峰山 アー広島 ふるさとの山
- 2 眺めは絶景 高見山 古寺巡って 千光寺  
向かう鳴滝 鉢ヶ峰 アー広島 ふるさとの山
- 3 沼南アルプス 熊ヶ峰 葛城山から 彦山へ  
山桃の丘 白木山 アー広島 ふるさとの山
- 4 大蛇伝説 亀ヶ岳 旗立岩より七ッ池  
蛇円の山は 備後富士 アー広島 ふるさとの山
- 5 山は広島 安芸 備後 春夏秋冬 登る山  
ぐるりと廻ってまた登る アー広島 ふるさとの山



この「故郷 広島山」は東広島山の会の会員大岡義明作詞、渡辺公子作曲によるものです。

山の日や広島県山岳連盟の会合でよく歌われています。平成5年に発表されましたが、そのご三次版、東部版などの歌詞が作られました。東広島山の会から提供いただいた歌詞を掲載しました。(編集部)



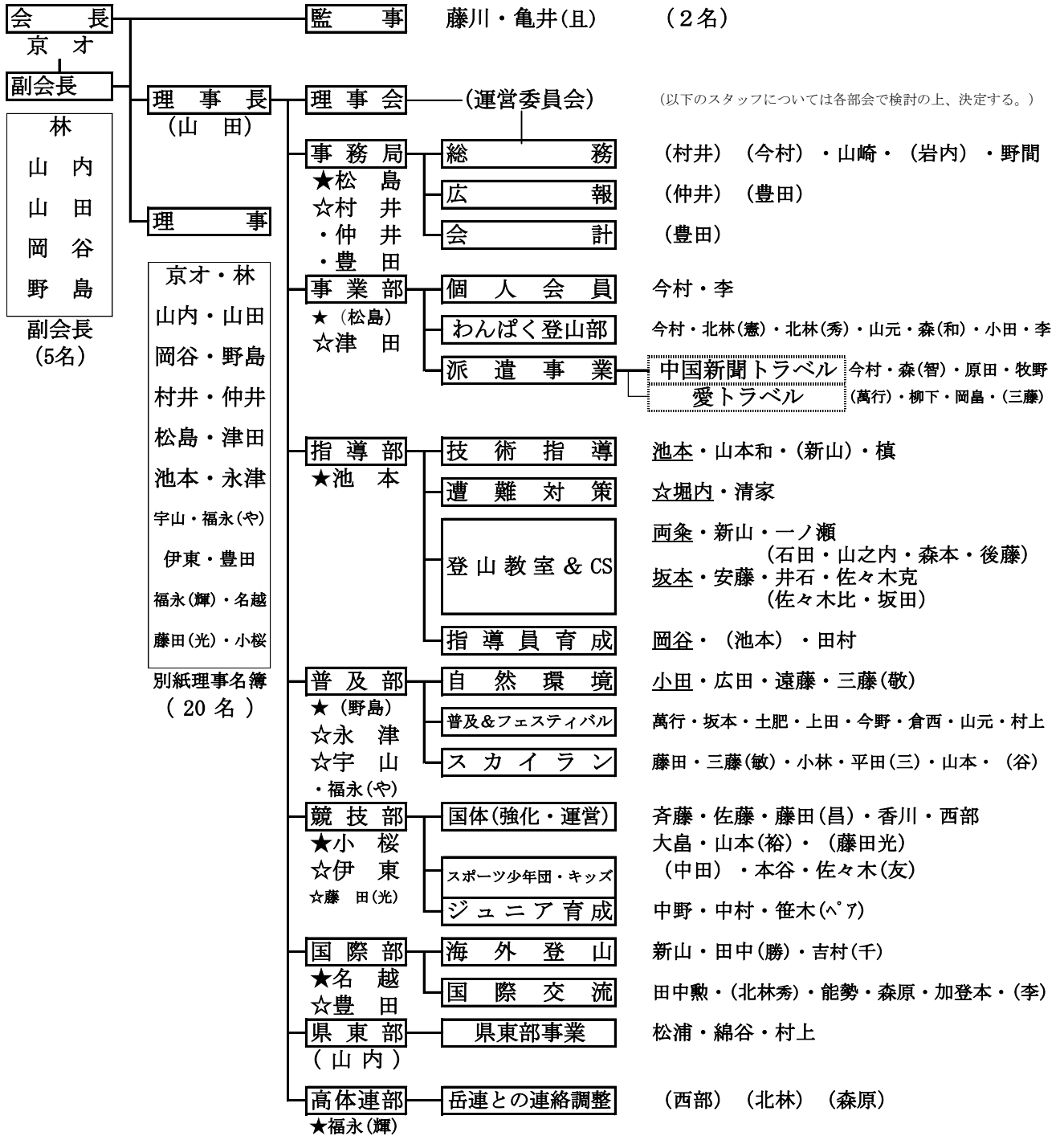
# 一般社団法人 広島県山岳連盟 組 織 図

平成21年5月9日

★：部長      ☆：副部長      下線：各担当のチーフ  
記号なし：担当      ( )：兼務

常任顧問	長谷川
顧問	亀井(郁)・田内・平田・加賀谷・兼森
参与	岡本(忠)・鈴木・加藤・小土井・岩内・萩原 坂本・井ノ口・谷・中田・尾道・福原・山本和・富澤

平成20年度物故役員  
・佐々木 弘磨



顧問ドクター	・杉村・藤井・松下・八幡
顧問トレーナー	・蛭江・竹内・森田・上岡 <sub>4</sub>

**山岳レスキュー講習会に参加して③****事故を未然に防ぐ****疲れないための条件4つ****登山教室 佐々森 弘暉**

東京から招かれた遭難対策のプロに、直接講義を受けると言う又とないチャンスに恵まれた。講義は、実例を交えて、わかりやすく又迫力があつた。概論に続いて『アクシデントを遭難にしない』ために、ビバークの仕方・ロープワーク・そして救急法にレスキュー装備など盛沢山で、且つ非常に参考になった。講義終了直後は山に登るのが恐くなった程である。それでも、山には登りたい！今後も安全登山を継続するために、多くを学んだ中から2点を述べる。

◆あわや遭難！と言うレベルのトラブルがあつたとき、グループ全員が同じ状況にさらされているわけだから、お互い自分で精一杯、人の事にかまっている余裕はない。実例を聞き戦慄さえ覚えた。『自己責任』と言う言葉理解したつもりでいるが、実は聞いているレベルで実践をしていないのだ。心のそこでは、インストラクターがいるから何とかしてくれる・・・と甘えている。いつの間にか『ついていく登山』になってしまった。何らかの理由によって、『山中で1人になり自力で下山しなければならない』時を常に考えて準備をしなければならないと改めて肝に銘じた。私の場合特に必要なのは『事前のコース確認』・ルートハンティング・そして、レスキュー装備の見直し等を実践していく。

◆次に『事故を未然に防ぐ』当たり前のことであるが、自分にとって、これもまだ追求する余地が多い事に気がついた。そうだ！限界以上に『疲れてはならない』のだ！『疲れない』ためには、①メンバーの体力に応じた行程を組む ②ザックの軽量化を図る ③日常のトレーニングを重ねる ④消費したカロリーを補給する常に指導を受けている事であるが、これを契機にもう一度工夫しなければならない。アクシデントを遭難にしないため『無理して下山せずビバーク』する。と言っても経験がなければ躊躇してしまう。自分で1度実践して、いつでも出来る状態にしておく事が大事である。最後に貴重な講習を企画して下さった県山岳連盟の指導部の方にお礼を申し上げ終りとする。

**団体会員紹介 ①****白木山登山道の整備・維持管理****白木愛山会**

**名前の由来**：白木山を主にトレーニングの場として登山を楽しんでいる人達の集合体で、設立時に幾つかの名称(案)を募り、その中から多数決で決定した。

**発 足**：平成14年3月21日 設立総会→発足

**名誉会長**＝故森戸強氏

**会 長**：稲野政男(渉外担当兼任)

**連絡先** 〒739-1742 広島市安佐北区亀崎1-11-17  
稲野方 電話&FAX 082-843-3758

**事務局長**：片山月夫(総務担当幹事)

規 程：白木愛山会規

**活動内容**・例会の状況：総会：年1回(原則として4月第2土曜日)

**役員会**：定期：毎年2月末 臨時：必要に応じて随時

**例会山行**：毎月1回 年1回・・・遠地山行(2～4泊) クライミング研究会・・・例会及び任意にて毎年数回実施 その他・・・新緑登山(春)、観月登山(白木頂上テント泊) 白木忘年登山(12月)

\*<例会山行は毎回ほぼ10～20名の参加>

**安全登山祈願**：毎年1月3日(平成19年以降)＝白木山麓の福永神社にて実施～(お祓いを受けた後)～新春白木登山

**岩登り**：年1回遠地にて岩登り・・・5名前後参加スキー親交会：参加者は限定的であるが、年2～3回実施 1シーズン延15名前後(ゲレンデスキーで楽しく遊ぶ)

**会員数**：設立時＝20名+家族会員5名

平成21年4月現在＝25名+家族会員5名

**会の目的、課題**

[目的] 会員相互の交流・情報交換、登山意識の高揚、及び登山技術の研鑽・維持・進展を図り、山を楽しむ。

[課題] 当会は積極的に会員募集を行っていない。設立

**白木愛山会紹介15頁より**

後7年を経過し、ご多分にもれず高齢化が顕著である。若年層の入会が望まれるところであるが、前述の通り積

極的な勧誘PRを行っていない現状の中で、平均年齢の上昇は否めず、総合的な体力低下が危惧されている。

世間一般に比較して、体力的に高いレベルにあると自負しているが、加齢による体力減退への対応は今後の大きな問題点でもある。

**その他**：白木山（持山）に関して

① **登山道の整備・維持管理**

当会会員及び白木山の常連（当会の会員外）にて登山道の整備や補修整備を行っている。

- \* 台風や大雨後の倒木・落枝等の除去、始末など
- \* 水場の水の出具合の管理、水場の敷石等
- \* 登山道の整備、付け替え

② **白木山の登山道（「モミ」の大木群&蛭に注意）**

白木山口駅からの正面登山道の他、椿谷周辺に複数のルートがある。また下深川、中深川、上深川からの尾根道（縦走コース）も良い。その他可部からのコースもあり、それぞれごとに人気がある。福永コースの上部には深い原生林があり、ここには見事な「モミ」の大木群が見られる。但し此処の近くに林道の工事計画があり、施工に伴う大規模な伐採が行われるとこの「モミ」の大木が失われてしまう。杞憂に済めば良いが、、、。現在工事は中断しているが、施工が中止されればと願っている。

椿谷周辺の沢沿いのルートには、夏は蛭が多く、血を吸われるので要注意。

③ **白木山の頂上標識**

3年ほど前、それまでの頂上標識が腐食破損した為、当会会員により作り変えた。柱は現地（山中）調達、その他使えるものは残存材を使用し、現在の標識となった。

④ **地藏尊の前掛け（エプロン）の取替え**

正面登山道の登り口から4合目まで8ヶ所に9体の地藏尊がある。それぞれごとに優しい風情、表情があって、登山者等の心を和ませしてくれる。いずれにも前掛けが掛けてあるが、風雨により汚れや劣化が激しく、当会女性会員が自発的に2～3回/年取替えをしている。

**山の風景③ 竜王山山頂 613,9m**

本州最西端一等三角点 撮影 2009・2・22 森 智昭



**山の情報 小五郎山に登ろう**

小五郎山（岩国市錦町）金山谷ルートは、2009年4月開通しました。鉦山の抗道、修験堂跡、オンドル跡地など「歴史探訪登山」を楽しむことができます。山岳連盟のホームページで詳細に紹介しています。

**もみじ 89号 (2009・10・1) 目次**

山岳レスキュー講習会開催 145名受講 堀内輝章 9

**受講報告①** 山登りは自己責任 兼森 10

② 気象情報、装備の大切さ学ぶ 森 茂樹 10

**副会長挨拶** 山の楽しさ広めたい 野島信隆 11

上級指導員の育成と派遣事業の推進 岡谷良信 11

**一言** マツタケ王国今いずこ 富澤哲郎 12

みんなで歌おう山の歌 故郷 広島之歌 13

**広島県山岳連盟組織図** 14

**受講報告③** 事故を未然に防ぐ条件 佐々森弘暉 15

団体会員紹介①白木愛山会 15 山の情報 15

山の風景③ 竜王山 森 智昭 16

**○会報名「もみじ」について**

昭和41年9月12日県民からの投票数が多かった「もみじ」が県の木選定委員会によって広島県の県の木に定められました。会報名はここから命名しました。

○ **題字デザイン**：今村みずほ

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方はメールアドレスを岳連事務局まで。 編集：仲井 正美



